

[116]語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1462191>

出版情報：語文研究. 116, 2013-12-26. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：



学会彙報

▼第六十三回西日本国語国文学会

於 熊本大学

二〇一三年九月一四日(土) ～ 一五日(日)

▼平成二十五年 九州大学国語国文学会

於 九州大学箱崎キャンパス

中央図書館新館4F・視聴覚ホール

二〇一三年六月八日(土)

〔研究発表〕

都の錦と嘶本

— 『軽口はなし』の一考察 —

平山 聖悟

アクセント変化と長母音

— 日朝対照の視点から —

金 娥璘

『源氏物語』葵の巻における雨の表現について

二宮 愛理

『伊勢物語』初段挿絵考

田村 隆

現代語に於ける並列助詞「たり」の一用法

— 非類の用法をめぐって —

京 健治

鹿児島方言の「イテ」と「イタテ」

木部 暢子

〔講 演〕

西鶴戯作者説再考

中野 三敏

〔シンポジウム〕

「徒然草の再発見」

川平敏文・辛島美絵・白石良夫

〔研究発表〕

『在明の別れ』の左大臣にみえる右大将の影 小松 明日佳
歌合判詞における「俗に近し」について

— 今様の歌詞を詠み込んだ歌を中心に — 大木 桃子

上田秋成「貧福論」考

— 通俗書物との関連性 —

吉田 宰

(九州大学関係者のみ)

▼受贈図書(二〇一三年四月～二〇一三年九月)

国語史を学ぶ人のために

青木 博史

肥前鹿島福源寺小志

井上 敏幸

岩崎文庫貴重書書誌解題

東洋文庫

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録(その5)

国文学研究資料館

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録(その6)

国文学研究資料館

歌合・定数歌全積叢書十八 順百首全積 筑紫平安文学会

蝶夢全集 田 中 道 雄

宇治十帖は紫式部が書いていない 西 野 正 彬

近世実録翻刻集 高 橋 圭 一

本朝月鑑 愛知県立大学4年本朝月鑑研究会

武家権力と文学・柳営連歌、『帝鑑図説』 入 口 敦 志

新芭蕉講座 全九卷（第一～三卷・発句篇、第四～五卷・連

句篇、第六卷・俳論篇、第七卷・書簡篇、第八卷・紀行

文篇、第九卷・俳文篇） 矢 次 浩

ペンと兵隊・火野葦平の戦争認識 今 村 修

岡松和夫・略年譜・著作目録 香葉会（関東学院女子短大）

安田女子大学言語文化研究叢書十八 篋齋所用印册

安田女子大学言語文化研究所

小津久足紀行集（一） 菱 岡 憲 司

古典籍善本展示即売会目録・一誠堂書店創業一〇周年記念

一誠堂書店

〒八二一八五八一 福岡市東区箱崎六一一九一

九州大学文学部内九州大学国語国文学会

(Tel・Fax：〇九二一六四二一三九五)

ホームページアドレス

<http://www.lit.kyushu-u.ac.jp/japano/>

(研究室のアドレスも記していますので、学会関係・住所変更等の各種連絡にも御利用下さい。)

《規 定》

- 一、投稿は原則として九州大学国語国文学会会員に限るが、それ以外の方に寄稿を依頼することもある。
- 二、投稿原稿は四百字詰原稿用紙三十枚内外を一応の規定とし、その際、二枚程度の要旨を添付されたい。
- 三、原稿の採否等については運営編集委員会に一任されたい。
- 四、刊行は年二回を原則とする。
- 五、刊行会費は現在年額維持会員四千円(各号二部配布)、通常会員二千円(各号一部配布)とする。
- 六、執筆者には別に二部を贈呈し、希望者には抜刷を実費で分ける。
- 七、会員以外の購読者は毎号ごとに誌代を納められたい。